

## 別紙

J F E プラリソース株式会社福山事業部福山原料化工場 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

福山原料化工場

(2) 事業所の所在地

〒721-0956 福山市箕沖町113番地

(3) 業種

8816 ごみ処分量

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28（2016）年度から平成32（2020）年度までの5年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

#### 1、基本方針

J F E プラリソース株式会社は容器包装プラスチックリサイクル事業を通じて循環型社会の実現に貢献します。

環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、環境マネジメントシステムを導入し、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

#### 2、行動指針

(1) 適用される関連法規及び規制を遵守します。

(2) 環境マネジメントシステムを構築し、維持し、継続的に改善します。

(3) 具体的には、以下の事項に取り組みます。

①省エネルギー及びプラスチックリサイクルの推進による二酸化炭素排出量の削減

②用水使用量の削減等による省資源

③リサイクル率向上等による産業廃棄物の削減

④工場見学受入・環境展への参加等を通じて地域環境教育への積極的な取り組み

⑤グリーン購入推進

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成27年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	燃料の使用	0	904	933
	他人から供給された電気の使用	0	7,662	8,901
			8,566	9,834
合 計		0		

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF <sub>6</sub>				
合 計				

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：処理量 (t)

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	8,566	30,097	0.285	5.0%	8,138	30,000	0.271
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方	CO <sub>2</sub> 原単位を「1%/年」削減						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を原単位で 1%/年削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乾燥機バーナー温度のキメ細かな管理</li> <li>・ アイドリングストップの徹底</li> <li>・ 処理能率の高効率化</li> </ul>
2	電気使用量の削減	電気使用量を原単位で 1%/年削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷暖房温度の適正管理</li> <li>・ 高効率照明器具への更新</li> <li>・ 休憩時間中の消灯を徹底</li> <li>・ パソコンモニタの省電力設定を徹底</li> <li>・ 処理能率の高効率化</li> </ul>

○ ※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		

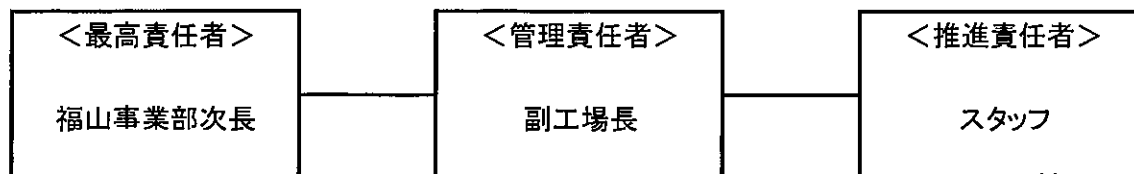
### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	周辺地域への貢献		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回/月の公道清掃実施</li> <li>・ 工場見学等の積極的受入れ</li> <li>・ 地域イベント等への積極的参画</li> <li>・ 出前講座の実施</li> </ul>
2			
3			

○ ※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

省エネに関するチェックリストを作成し日常での点検を行う。また毎月、前月の実績を把握・評価し、継続的な省エネとCO<sub>2</sub>削減の向上を図る。

毎年度の実績・取組状況及び環境教育を計画実施し従業員全員に周知徹底させ、従業員全員で省エネとCO<sub>2</sub>削減に取り組む。

### (3) 計画書等の公表

- ・ 事務所に備え付けて閲覧する。
- ・ 毎年度発行するCSR報告書（環境報告書）を当社ホームページ上で公開し、進捗状況を公開する。